

森づくりの最前線

伊豆森林管理署 松崎森林事務所 森林官 鈴木 英樹 えいぎ



西伊豆町の夕陽

私の勤務している松崎森林事務所は、静岡県伊豆半島、駿河湾側（西伊豆）と太平洋側（南伊豆）に位置し、松崎町、西伊豆町、南伊豆町の3町を管轄しています。

周辺には景勝地の堂ヶ島を始め、石部、岩地、雲見海岸があり、海の透明感や景色も最高で、夏は海水浴やサザエ祭り、海賊料理祭り、秋からは伊勢エビ祭り等で賑わいます。また、西伊豆町の夕陽は「夕陽日本一宣言」されているとおり、海に沈む太陽はその美しさに圧倒されます。

当事務所では仁科峠から長九郎山周辺に位置する国有林約2,926㍊と官行造林地約277㍊を管理しています。長九郎山（標高995㍎）は5月から6月にかけて、2種類のシャクナゲが咲き、登山途中で京丸シャクナゲ、山頂付近には伊豆地域固有のアマガシシャクナゲが約2千本自生し綺麗な花を咲かせます。シャクナゲ目当ての登山者が多く、山頂にある展望台では、シャクナゲと富士山を眺め楽しんでいる様子が見られます。

当事務所管内の人工林率は約8割を占めていますが、最近では、スギなどを植えてもシカによる葉や樹皮の食害が後を絶たない状況にあります。このためシカ柵の設置や造林木に保護資材を巻き付けて対応しているところですが、シカも学習能力が優れているのか、最近では幼齢木は倒されて幹先端の樹皮まで食害を受けるようになってきました。



京丸シャクナゲ

伊豆半島にはシカが約2万4千頭生息していると推定され、保護管理計画では毎年7千頭の捕獲を目標にしていますが、平成23年3月には県下で初めて伊豆市で「食肉加工センター」が運用される予定であり、引き続き関係機関と連携を図りつつシカ対策を講じていきたいと考えています。

また、平成22年9月3日に、静岡県知事・独立行政法人森林総合研究所森林農地整備センター関東整備局長・関東森林管理局長との3者による「ふじのくに静岡の森林・林業の再生に関する覚書」が締結されました。

これに基づき、静岡県賀茂農林事務所長・静岡県水源林整備事務所長・伊豆森林管理署長との3者により「伊豆地域森林整備推進協定」を締結し、関東森林管理局管内で初の取組となる「森林共同施業団地」を設定しました。

この施業団地は、下田市及び賀茂郡松崎町の県営林292㍊、水源造成事業地110㍊、国有林156㍊の計558㍊が対象となっており、国有林・民有林が連携して一体的に路網を整備し林業機械の導入等を容易にすることにより効率的な森林整備等を行っていくこととしています。

森林官として、これまで以上に地元との連携を密にして国有林を適切に管理・運営していきたいと考えています。



被害を受けた幼齢木

